

(記入例)

②裏面をご覧ください

①本計画書は、秋用と春用を別々に作成しなければなりませんので、どちらかに○をしてください

様式第1-1号(参加農業者用)

化学肥料低減計画書

<作付概要>		<対象肥料>	
作物名	作付面積(ha)	秋用	春用
〇〇〇		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
〇〇〇		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
計			

氏名(法人・組織名) 〇〇 〇〇

住所 大山町 〇〇〇 〇〇〇番地

電話番号 0859-xx-xxxx

※いずれかに○を付けてください

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付けてください。
2. 「令和4年度又は令和5年度取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用()		

③裏面をご覧ください

①当年肥料費を記載してください。⇒私の当年肥料費は合計 〇〇,〇〇〇 円です。

②チェック欄にチェック(✓)した上で署名してください。

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について、以下のとおり誓約します。

チェック欄	内容
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 記載の肥料は令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し
<input checked="" type="checkbox"/>	2. 本計画書及びその他の提出書類について、必要に応じて関係機関等に相談し
<input checked="" type="checkbox"/>	3. 本事業に係る報告や立入り調査について、事業実施主体等から協力を得る
<input checked="" type="checkbox"/>	4. 取組を実施したことが確認できる資料や写真等の証拠書類について、支援金の交付を受けた年度の翌年度から5年間保管し、事業実施主体等から提出する
<input checked="" type="checkbox"/>	5. 以下の場合には支援金を返還すること、又は、交付されないことについて責任を負います。 ア 本計画書及びその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合 イ 正当な理由がなく、本計画書に記載した取組を実施していないことが判明した場合

④支援金受給の対象となる秋用肥料または春用肥料の購入額を記入してください

氏名(自署) 〇〇 〇〇

⑥氏名を自署することで、した内容を誓約したことになります

注1) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～12月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。ただし、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

(注2) 注文によらず購入した(ホームセンターでの購入等)肥料の根拠資料(レシート等)を提出する際は、本紙裏面の様式第1-2号に、該当する肥料を一覧にとりまとめて提出すること。

⑤1～5までの内容を確認し、内容に同意する場合はチェック欄にを記入してください
同意が無い場合、申請は受け付けられません

② 「作付概要」の記入方法(記入例)

<作付概要>

作物名	作付面積(ha)
水稲	〇〇
その他	
計	10.0

1. まず、作付する面積の合計を記入してください
この場合の合計面積は全作付面積ではなく、「秋用肥料を使用する作物」または「春用肥料を使用する作物」ごとの合計です
2. 次に、作付する作物のうち最も面積が多い作物名と、その面積を記入してください

<作付概要>

作物名	作付面積(ha)
水稲	6.0
その他	4.0
計	10.0

★合計面積の過半を占める作物が「ある」場合

3. その他(この例では水稲以外)に作付ける作物の合計面積を、「その他」の欄に記入してください

<作付概要>

作物名	作付面積(ha)
水稲	4.0
白ねぎ	3.0
その他	3.0
計	10.0

★合計面積の過半を占める作物が「ない」場合

4. 2番目に作付面積の多い作物名と、その面積を2段目の欄に記入してください
5. その他(水稲と白ねぎ以外)に作付ける作物の合計面積を、「その他」の欄に記入してください

③ 「取組メニュー」の記入方法(記入例)

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用()		

★ 前年度までに「化学肥料低減に向けた取組」メニューに…

1. 取組んでいない

前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
	○
	○

2. 1つ取組んでいる

前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
○	○
	○

3. 2つ以上取組んでいる

前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
○	◎
○	○

令和4年度または令和5年度のうちに…

取組むメニューを2つ以上選んで○をつける

取組むメニューを1つ追加して選び○をつける

取組を拡大・強化するメニューを1つ選び◎をつける